



平成21年9月10日

各位

タツタ電線株式会社
 (代表者名) 取締役社長 藤江 修也
 (コード番号5809 東証・大証第1部)
 (問合せ先) 取締役 総務部 経理・財務担当部長 松本 一郎
 TEL(06)6721-3011(代表)

減損損失の計上、退職給付信託の設定並びに業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年9月10日の取締役会において、減損損失の計上、退職給付信託の設定の決議を行うとともに、平成21年4月30日に公表いたしました平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日~平成21年9月30日)の業績予想について下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 減損損失の計上

保有する使用資産のうち収益性の低下が見込まれる電線製造設備及び光部品製造設備について、今後の事業環境及び今後の見通しを勘案した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」にもとづき、減損損失5億4千3百万円を特別損失に計上します。

2. 退職給付信託の設定について

金融環境の悪化により年金資産が減少したことから、退職給付財政の健全化を目的に、当社が保有する株式の一部を退職給付信託に拠出します。

退職給付信託として拠出する株式の金額は6億6千万円と見込んでおり、これにより退職給付信託設定益として6億2千万円を特別利益に計上する見込みです。

なお、信託設定は平成21年9月中を予定しております。信託設定益については設定日の株価により変動する可能性があります。

3. 平成22年3月期 連結業績予想の修正

第2四半期累計期間(平成21年4月1日~平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り四半期純利益
前回発表予想(A)	18,000	150	200	200	3円07銭
今回発表予想(B)	17,000	200	230	250	3円83銭
増減額(B-A)	1,000	50	30	50	-
増減率(%)	5.6	33.3	15.0	25.0	-
(ご参考)					
前年同期実績	26,175	1,365	1,429	883	13円02銭

修正の理由

国内民間設備投資の低迷による建設・電販を中心とした電線需要の減少により、売上高は前回予想値を下回る見込みではありますが、電子材料需要の順調な回復により営業利益、経常利益は前回予想値を上回る見込みであります。当期利益は、経常利益の増加に加え特別損益の計上により前回予想値を上回る見込みであります。

なお、通期累計期間（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の業績予想については、下期の動向が不透明であることから、平成21年4月30日に公表した業績予想の変更は行っておりません。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上